

学校だより

平成29年5月号

<教育目標> 意欲を育て 夢を育む学校

大阪狭山市立第七小学校

学習指導要領が改定されます

校長 沼田 貞治

暖かくなってきましたね。桜やチューリップはすでに終わりましたが、七小の入り口にはパンジーがたくさん咲いています。昨年秋のフラワープロジェクトで育てて以来ずっと咲いています。強いです。

スタートの4月も何とか終わりました。子どもたちはどうですか。新しい友達はできたでしょうか。新しい先生に慣れたでしょうか。勉強は大丈夫ですか。保護者の皆様もどうですか。先日家庭訪問にお伺いしましたが、いろいろお話できましたでしょうか。今後とも担任とのパイプをどうぞ太くしてってください。

さて、すでにご存じの方も多いことと思いますが、学習指導要領が改定になります(H32年度完全実施)。それに向けて学校も少しずつ動いてまいります。改定の背景は、10年後の、今の子どもたちが活躍する社会はどうなっているのかということです。変化の激しい社会において、未知の課題に対応する力を育てることを求められています。詳しくはまたおいおいお話したいと思いますが、目立って変わるところは、まず3年生から**外国語(英語)の学習が始まります**。英語の授業というどのようなイメージを持たれていますか。私などは「とにかく覚えろ、暗記しろ」と言われた記憶がありますが、今求められている力は「コミュニケーション力」です。義務教育の出口ごろには、英語の音声や語彙、表現などを理解しながら、実際のコミュニケーションにおいて、どれだけ活用できるかが問われてきます。

社会に出て働き始めると、これからは外国人とコミュニケーションをとる場面がきっとあることでしょう。もしかしたら外国に行って、仕事上英語でプレゼンをしなくてはならないような状況になるかもしれませんね。英語コンプレックスがなく、普通に英語がしゃべられるようになったらすてきですね。

ということで、大事なものはコミュニケーション力。This is a pen. ではなくて what's your name? から始めます。10年後英語を使って活躍できる素地ができるよう、がんばりたいです。



参観・懇談ごくろうさまでした